

教育目的

社会建設工学科では、「実務社会で活躍できる土木・建設技術者を育成する」ことを使命とし、以下の教育目的を掲げています。

- (1) 高い技術力を有する技術者に育てる
 - 1-1 Civil and Environmental Engineering の専門的基礎力とその応用力のある技術者に育てる
 - 1-2 問題発見能力のある技術者に育てる
 - 1-3 問題解決能力のある技術者（創意，創造，工夫のできる人）に育てる
 - 1-4 表現力，説明能力のある技術者に育てる
 - 1-5 豊かな教養のある技術者に育てる
- (2) 自信と活力を持ち，常に自己の向上を目指す技術者に育てる
 - 2-1 自主的に継続的学習が行える技術者に育てる
 - 2-2 計画力とその遂行能力のある技術者に育てる
 - 2-3 協調性を持って仕事ができる技術者に育てる
- (3) 倫理観のある技術者に育てる
 - 3-1 技術者倫理観，環境倫理観，人道的倫理観のある技術者に育てる
- (4) 国際的視点を持ち，国内外で活躍できる技術者に育てる

学習・教育到達目標

上記の教育目的を達成するための具体的目標として，以下の学習・教育到達目標を掲げています。

- (A) 土木・環境分野の確かな基礎力を身につける
 - A-1 人類と文明・地域・自然との相互関係を理解する基礎的知識
 - A-2 土木・環境分野に関連する数学・自然科学・情報処理の基礎的知識
 - A-3 土木・環境分野の基礎的知識
- (B) 技術に対する向上心と倫理観をはぐくむ
 - B-1 自主的かつ継続的に学習する能力
 - B-2 高い倫理観を持ち，明るい社会や豊かな自然環境をつくり維持する能力
- (C) 実務に応用できるデザイン能力をはぐくむ
 - C-1 実務を理解し，内包する問題点や解決すべき課題を発見する能力
 - C-2 課題を創意・創造・工夫により解決し，形にする能力
- (D) 円滑な課題遂行のためのチームワーク力をはぐくむ
 - D-1 関連する課題を的確に表現し，説明する能力
 - D-2 土木・環境分野の基礎的な国際コミュニケーション能力

社会建設工学科の教育目的と学習・教育到達目標は次表のように対応しています。

【教育目的と学習・教育到達目標との対応表】

		(1)					(2)			(3)	(4)
		1-1	1-2	1-3	1-4	1-5	2-1	2-2	2-3	3-1	
(A)	A-1	-	-	-	○	-	-	-	-	-	○
	A-2	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-
	A-3	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(B)	B-1	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
	B-2	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-
(C)	C-1	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-
	C-2	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-
(D)	D-1	-	-	-	○	-	-	○	-	-	-
	D-2	-	-	-	-	-	-	○	-	-	○

JABEE 認定プログラム

社会建設工学科は 2003 年度より社会建設工学科日本技術者教育認定機構認定プログラムとして JABEE より認定を受けています。

JABEE とは日本技術者教育認定機構（Japan Accreditation Board for Engineering Education／設立 1999 年 11 月 19 日）の略で、国際的に通用する技術者教育のために、大学など高等教育機関で実施されている技術者教育プログラムが、社会の要求水準を満たしているか審査・認定を行う非政府団体です。

社会建設工学科に所属し、所定の単位を修得して卒業すると JABEE 認定を受けることができます。この認定を受けると、技術士（国家資格）の第一次試験が免除されます。また修得技術者となり、技術士補の登録ができます。

JABEE では、工学教育の修了生の学習・教育到達目標の目安として以下の基準を設定しています。

- a. 地球的視点から多面的に物事を考える能力とその素養
- b. 技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、および技術者が社会に対して負っている責任に関する理解（技術者倫理）
- c. 数学及び自然科学に関する知識とそれらを応用できる能力
- d. 当該分野において必要とされる専門的知識とそれらを応用する能力

- e. 種々の科学，技術および情報を活用して社会の要求を解決するためのデザイン能力
- f. 論理的な記述力，口頭発表力，討議等のコミュニケーション能力
- g. 自主的，継続的に学習する能力
- h. 与えられた制約の下で計画的に仕事を進め，まとめる能力
- i. チームで仕事をするための能力

本学科の学習・教育到達目標は，上記の基準を網羅するように設定しています．その対応表を以下に示します．表中の○印は，その項目が密接に関連することを示しています．

【社会建設工学科の学習・教育到達目標と JABEE 基準との対応表】

		a.	b.	c.	d.	e.	f.	g.	h.	i.
(A)	A-1	○	-	-	-	-	-	-	-	-
	A-2	-	-	○	○	-	-	-	-	-
	A-3	-	-	-	○	-	-	-	-	-
(B)	B-1	-	-	-	-	-	-	○	-	-
	B-2	-	○	-	-	-	-	-	-	-
(C)	C-1	-	-	-	○	-	-	-	-	-
	C-2	-	-	-	-	○	-	-	○	○
(D)	D-1	-	-	-	○	-	○	-	-	○
	D-2	-	-	-	-	-	○	-	-	-

JABEE (Japan Accreditation Board for Engineering Education : 日本技術者教育認定機構) とは「技術系学協会と密接に連携しながら技術者教育プログラムの 審査・認定を行う非政府団体」のことで，2004 年 4 月から JABEE が認定したプログラムの修了者は，文部科学大臣の指定を受けて技術士の第一次試験が免除されることになりました．科学技術創造立国の政策を推進する上から，多くの JABEE 認定プログラム修了者が技術士を目指すことを期待されています．

山口大学工学部社会建設工学科は「社会建設工学科日本技術者教育認定機構認定プログラム」の認定を受けています．

- 平成 16 年 3 月修了生より山口大学工学部社会建設工学科 (社会建設工学コースに限る)
- 平成 19 年 3 月修了生より山口大学工学部社会建設工学科 (東アジア国際コースに限る)
- 平成 22 年 4 月修了生より山口大学工学部社会建設工学科 (日本技術者教育認定機構認定プログラムに限る)